

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電気電子4年	科目コード	
科目名	日本語コミュニケーションスキル Japanese Communication				
担当教員	岡宮 美樹				
単位数(時間数)	必修 前期 2単位 (30時間)【学修単位】	学習・教育目標との対応			
授業の目的と概要	高専での学習活動において、論文の内容を正しく読み取り、情報を正確に伝える分を書くことが求められる。この授業では、3年次の授業で身に付けた語彙や表現を実施に使い、論文執筆の練習を重ねる。				
先修科目	日本語				
後修科目					
備考	前期は2年次の教科書および副教材、辞書等を使用する。後期は、新たに購入した教科書を使用する。				
	授業項目	時間	内容		
1	第1課「作文の基本(1)」	1	文字や記号の書き方。		
2	第2課「作文の基本(2)」	1	文体・表現		
3	第3課「課題の提示」	2	論文の構成要素 序論の構成要素(1)		
4	第4課「目的の提示」	2	序論の構成要素(2)		
5	第5課「定義と分類」	2	本論の構成要素(1)		
6	第6課「図表の提示」	2	本論の構成要素(2)		
7	第7課「変化の形容」	2	本論の構成要素(3)		
8	第8課「対比と比較」	2	本論の構成要素(4)		
9	第9課「原因の考察」	2	本論の構成要素(5)		
10	第10課「列挙」	2	本論の構成要素(6)		
11	第11課「引用」	2	本論の構成要素(7)		
12	第12課「同意と反論」	2	本論の構成要素(8)		
13	第13課「帰結」	2	本論の構成要素(9)		
14	第14課「結論の提示」	2	結論の構成要素		
15	ポートフォリオの作成と評価	2	この授業を振り返り、この授業で学んだことをまとめる。		
16	まとめ	2	まとめ		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	3年次の「日本語」での漢字の習得を継続すると同時に、理論的な日本語の論文が執筆できるよう、論文構成要素の項目ごとに実際に執筆し、練習を重ねる。				
成績評価	毎回各項目において、宿題の論文を課する。提出状況、論文内容などをポートフォリオ形式で評価する。100点満点により評価し、6割以上を獲得した者を合格とする。				
教材	旺文社『JLPT 日本語能力試験ターゲット1000 NI漢字』 アルク『大学・大学院留学生の日本語 論文作成編』				
オフィスアワー	原則として下記の先生が代わって対応します。 久保田和男教授(木曜日16:00~17:00)				